

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆3月の景気基調判断、1年10カ月ぶり上げ「上方への局面変化」に

・内閣府が発表した3月の景気動向指数(速報値)は足元の経済状況を示す一致指数(2020年=100)が116.5と前月から0.3ポイント上がった。上昇は2カ月ぶり。基調判断は「上方への局面変化を示している」に引き上げた。基調判断の引き上げは2024年5月以来、1年10カ月ぶり。2月までは「下げ止まりを示している」だった。

◆26年の賃上げ率5.05%、連合第5回集計 中小は4.81%

・連合は2026年春季労使交渉の5回目の回答集計を公表。基本給を底上げするベースアップ(ベア)と定期昇給を合わせた賃上げ率は平均で5.05%。中小企業は4.81%と5%を割った。全体平均は第4回集計の5.08%から0.03ポイント下がり、前年の第5回集計の5.32%を0.27ポイント下回った。

◆3月の消費支出2.9%減、4カ月連続マイナス 強まる節約志向

・総務省が発表した3月の家計調査によると、2人以上世帯の消費支出は33万4701円。物価変動の影響を除いた実質で前年同月比2.9%減り、4カ月連続のマイナスとなった。中東情勢の混乱で家計が節約志向を強めた。自動車の購入費や食料費が全体を押し下げた。QUICKが事前にまとめた予測中央値は1.3%減。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆クリナップ、27年3月期純利益2%増 高価格帯キッチン伸びる

・クリナップは2027年3月期の連結純利益が前期比2%増の35億円になる見通しだと発表。高価格帯のシステムキッチンの販売が伸びる。売上高は6%増の1420億円、営業利益は24%増の49億円を見込む。現状は中東情勢の影響を織り込んでいない。同日発表した26年3月期の連結決算は純利益が前の期比2倍の34億円。売上高は3%増の1344億円。

◆マンション建築費が過去最高 4月の東京地区、鋼材値上がり

・建設物価調査会(東京・中央)が発表した4月の東京地区の建築費指数(速報値、2015年=100)は、マンション(鉄筋コンクリート造)が前月から0.4%上昇し143.8となった。上昇は17カ月連続で過去最高の更新が続いている。主要材料の一つである鉄筋の値上がりの影響が大きい。

◆ダイキン工業が自社株買い 最大3500億円、10年ぶり

・ダイキン工業は3500億円の自社株買いを実施すると発表した。ダイキンが自社株買いを発表するのは2015年以来、10年ぶり。資本効率の改善につなげる。「コミットメント型自己株式取得(FCSR)」と呼ぶ手法を使い、13日に東京証券取引所の立会外取引「ToSTNeT(トストネット)-3」で取得する。

《 注目商品 》

■永大産業、フレームデザインキッチンが進化

・デザイン性とカスタマイズ性を向上させたフレームデザインの「GATE STYLE KITCHEN forma(ゲートスタイルキッチンフォルマ)」を発売。「ゲートスタイルキッチンSS-1」をさらに洗練させ、使う人の個性を反映し多様なインテリアに溶け込むキッチンとして開発。



■パナソニックAWエンジニアリング、独立トイレユニットの上位モデル

・従来の3点式ユニットと同じスペースで、シャワーとトイレを分離し、独立トイレルームを実現できるユニットの上位モデルを発売。上位モデルは壁柄を拡充。モトーン系(Black、Gray、White)の上質なカラーコーディネートが可能。



■BXカネシン、引張耐力149kNのホールダウン金物

・中・大規模木造建築の高倍率の耐力壁や連層耐力壁の柱端部に使用するホールダウン金物。柱に対してビスを斜め45度に打ち込むことで、高い引張性能とビス本数の削減を両立。135mm角以上の柱に対応し、149kNの高い引張性能を実現。

